

青少年自立支援者のための研究交流フォーラム

～体験から学び主体的に人生を生きることをめざす支援～

◆趣 旨	生活体験・自然体験等をとおして、発達障害（児）者や社会不適応者、一般の青少年の自立に取り組んでいる支援者及び自立支援に関心を有する人々を対象に開催する。 参加者の事例発表や先進的な事例紹介及び協議、支援者としてのスキルアップ研修、課題解決に結びつく情報の提供・交換等により、自立支援者の資質向上と支援方法のスキルアップを図るとともに、参加者間での有機的な連携を構築し、連携支援活動の充実を目指す。 また、参加者個々の実践事例や事業後の連携した取組事例をまとめた「実践事例集」を作成し、広く一般に情報提供を図る。
◆主 催	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家 「青少年自立支援者のための研究交流フォーラム」実行委員会 【実行委員会スーパーバイザー】榊原典俊（社会福祉法人青葉仁会理事長） 【実行委員会委員（50音順）】穴澤剛行（ふるさと自然塾代表）、佐々木豊志（くりこま高原自然学校校長）、西村仁志（同志社大学大学院 総合政策科学研究科准教授）、宮川治樹（帝塚山大学心理福祉学部心理学科准教授）
◆後 援	群馬県・千葉県・埼玉県・栃木県・茨城県・長野県の各県教育委員会、富士見村教育委員会、群馬県自閉症協会、株式会社モンベル、（社）葛巻町畜産開発公社くずまき高原牧場、（財）日本知的障害者福祉協会、（社）精神発達障害指導教育協会、上毛新聞社、NHK前橋放送局、群馬テレビ株式会社、株式会社エフエム群馬（申請中を含む）
◆日 時	平成21年2月13日（金）18：30～2月15日（日）12：30＜2泊3日＞
◆対 象	青少年の自立支援者及び自立支援に関心のある社会人・学生（大学生・短期大学生・専門学校生等）・高校生
◆会 場	国立赤城青少年交流の家
◆定 員	100名（定員になり次第、締め切らせていただきます）
◆講 師	【分科会講師については分科会番号順】

【オープニング】 佐々木豊志氏（くりこま高原自然学校 校長）
西村 仁志氏（同志社大学大学院 総合政策科学研究科 准教授）
「岩手・宮城内陸地震の被災体験から学んだ自立とは ～主体的に生きることの大切さ～」

【分科会Ⅰ】	【分科会Ⅱ】
・三谷 嘉明氏（めぐみ生涯発達支援研究所 主任研究員）	・宮川 治樹氏（帝塚山大学心理福祉学部心理学科准教授）
・穴澤 剛行氏（ふるさと自然塾 代表）	・佐々木克典氏（学校法人白根開善学校 常務理事）
・林 壽夫氏（株式会社プロジェクトアドベンチャー ジャパン 代表）	・鈴木 基司氏（みどりクリニック 院長）
・馬場 明子氏（前橋少年鑑別所 所長）	・木村 元忠氏（社団法人葛巻町畜産開発公社ふれあい交流室 室長）
・佐藤 順子氏（元法務教官、(有)ネットワークシニアツリ）	・黛 徳男氏（アドベンチャー集団 Do！ 代表）
・小林 信篤氏（川崎医療福祉大学医療福祉学部 医療福祉学科 准教授）	・安田 淑美氏（群馬県発達障害者支援センター 所長、臨床心理士）
・山田 智子氏（群馬県自閉症協会 会長、臨床発達心理士）	・山田 智子氏（群馬県自閉症協会 会長、臨床発達心理士）
・西田 真哉氏（トヨタ白川郷自然学校 学校長）	・山下 雅彦氏（福山平成大学福祉健康学部健康スポーツ科学科 講師）
・佐々木豊志氏（くりこま高原自然学校 校長）	・北川 健司氏（NPO法人エヌエスネット 理事長）

【ナイトセッション】 穴澤 剛行氏（ふるさと自然塾 代表）

【全体会】 シンポジウム ※コーディネータは榊原 典俊氏（社会福祉法人青葉仁会 理事長）

【ふりかえり】 宮川 治樹氏（帝塚山大学心理福祉学部心理学科 准教授）

<分科会Ⅰ>

- ① **一般の青少年の育成・発達支援**…「自立心を伸ばす体験学習・環境づくり ～モンテッソーリ教育法から～」
講師：三谷嘉明氏，穴澤剛行氏
 - モンテッソーリ教育は子どもの自発性，個性を最大限に尊重する教育法で，理念・方法・平和が一体化されたユニークかつ普遍的な教育法です。モンテッソーリ教育法の本質は，青少年の自主性，自立心，知的好奇心を刺激し，社会貢献に寄与する人間性を育みます。その教育法は青少年の育成・発達支援を考える上で参考になります。
- ② **プロジェクトアドベンチャーについて**…「人と人の信頼関係づくりに着目して」
講師：林壽夫氏
 - 人が成長するための環境で，最も大切なものは信頼関係だとするプロジェクトアドベンチャープログラムから青少年の自立支援を考えます。信頼関係をベースにつくられるサポート環境が自立への足がかりとなるか等をいっしょに考えます。
- ③ **反社会的問題行動の理解と支援**
講師：馬場明子氏，佐藤順子氏
 - 非行・反社会的な問題行動の背景と理解，対応の原理と方法，問題別の対応，非行予防，関係諸機関との連携等，豊富な実践事例をもとに様々な角度から分科会テーマに迫ります。
- ④ **知的・発達障害（児）者への支援**…「TEACCH プログラムを参考に支援を考える」
講師：小林信篤氏，山田智子氏
 - TEACCH プログラムを参考にしながら，自閉症（児）者が「地域で自分らしく豊かに暮らしていく」ための様々な支援について，実践例を交えながら考えていきます。
- ⑤ **自然体験施設・社会教育施設における支援**…「自然体験施設・社会教育施設における取組と課題」
講師：西田真哉氏，佐々木豊志氏
 - それぞれの施設では自然体験活動や生活体験活動を通して，青少年の自立支援のための具体的なプログラムが実施されています。それらの取組と課題，展望等をもとにしながら，青少年の自立のための支援を考えるとともに，より自立支援に貢献できるプログラムについても討議できればと考えています。

<分科会Ⅱ>

- ① **学校教育における取組と臨床心理学の視点からの検証**…「中高一貫の全寮制教育の取組から」
講師：宮川治樹氏，佐々木克典氏
 - 「出口の無い教育の危機」が全世界的に叫ばれている現代。昭和53年の開校以来，生活と学習を統合した中高一貫の全寮制教育を，大自然の中で行っている白根開善学校。その取組から，青少年の自立支援について考えるとともに，学校教育現場での取組を臨床心理学の視点からその理論と実践を検証し，今後の方向性を考えます。
- ② **不登校・ひきこもり・ニートの理解と支援**
講師：鈴木基司氏，木村元思氏
 - 不登校・ひきこもり・ニートへの医学的視点からの考察や，そうした状態にある者への自然体験活動の有用性・効果等を実践事例をもとに考えることにより，具体的な支援や手だてを明らかにしていきます。
- ③ **食育について**…「今なぜ食育か ～豊かな人間性を育む食育を考える～」
講師：黛徳男氏
 - 我が国の社会経済構造等の急激な変化は，家族が食卓を囲んだ楽しい食事にまで及んでいます。家庭の食卓がもつ教育的効果の可能性について考えるとともに，野外での調理体験を通してさらに認識を深めます。
- ④ **知的・発達障害（児）者への総合的な支援活動**…「ネットワークづくりに着目して」
講師：安田淑美氏，山田智子氏
 - 知的・発達障害（児）者に対して，医療，保健，福祉，教育，労働等の各分野と緊密な連携をとりながら行う総合的な支援を考えます。
- ⑤ **自然体験活動の効果測定・評価について**…「自然体験活動の効果測定・評価」
講師：山下雅彦氏，北川健司氏
 - 実践例に基づきながら，自然体験活動が青少年に及ぼす効果，効果測定について考えます。効果測定の調査法や解析，効果測定により得られたデータの活用等についてもあわせて考えていくこととなります。

◆主な日程

< 2月13日(金) >

- 17:30~18:30 受付(夕食は済ませてきてください)
- 18:30~19:00 開講式
- 19:00~20:30 オープニングセッション 佐々木豊志氏・西村仁志氏
「岩手・宮城内陸地震の被災体験から学んだ自立とは ～主体的に生きることの大切さ～」
- 20:30~21:00 オリエンテーション(赤城青少年交流の家の施設・設備の説明や生活案内)
- 21:00~22:30 休憩・入浴(23:00就寝)

< 2月14日(土) >

- 9:15~12:15 分科会Ⅰ
 - ①一般の青少年の育成・発達支援「自立心を伸ばす体験学習・環境づくり ～モンテッソーリ教育法から～」
：三谷嘉明氏, 穴澤剛行氏
 - ②プロジェクトアドベンチャーについて「人と人の信頼関係づくりに着目して」：林壽夫氏
 - ③反社会的問題行動の理解と支援：馬場明子氏, 佐藤順子氏
 - ④知的・発達障害(児)者への支援「TEACCHプログラムを参考に支援を考える」：小林信篤氏, 山田智子氏
 - ⑤自然体験施設・社会教育施設における支援「自然体験施設・社会教育施設における取組と課題」
：西田真哉氏, 佐々木豊志氏
- 12:30~14:00 昼食とポスターセッション
(希望者は昼食の時間帯にご自由にどうぞ!!)
- 14:00~17:00 分科会Ⅱ
 - ①学校教育における取組と臨床心理学の視点からの検証「中高一貫の全寮制教育の取組から」
：宮川治樹氏, 佐々木克典氏
 - ②不登校・ひきこもり・ニートの理解と支援：鈴木基司氏, 木村元恵氏
 - ③食育について「今なぜ食育か ～豊かな人間性を育む食育を考える～」：黛徳男氏
 - ④知的・発達障害(児)者への総合的な支援活動「ネットワークづくりに着目して」：安田淑美氏, 山田智子氏
 - ⑤自然体験活動の効果測定・評価について「自然体験活動の効果測定・評価」：山下雅彦氏, 北川健司氏
- 17:30~18:30 活動発表
(希望者による実践発表を行います!!先着4人(組)まで)
- 18:30~20:30 ナイトセッション(立食パーティー形式のネットワークづくり)
- 20:30~22:30 休憩・入浴(23:00就寝)

< 2月15日(日) >

- 9:00~10:30 全体会(シンポジウム)
- 11:00~12:00 ふりかえり・まとめ
- 12:00~12:30 閉講式(閉講式後, 昼食を済ませて流れ解散)
- 12:30~13:30 昼食

◆申込期間

平成20年12月1日(月)～平成21年1月16日(金) 必着

- ★定員になり次第, 締め切らせていただきます。
- ★受講内定者の二次案内通知につきましては, 申込期間終了後, 郵送にてお知らせいたします。

◆参加費

- (Aタイプ) 2/13(金)～2/15(日)2泊3日 参加費 9,000円
- (Bタイプ) 2/13(金)～2/14(土)1泊2日 参加費 8,050円
- (Cタイプ) 2/14(土)～2/15(日)1泊2日 参加費 8,580円

【内訳】食事代, ナイトの食事代, 湯茶代, シーツ洗濯代, 傷害保険代, 教材費, 報告書代
★当日受付にてお支払いいただきます。なお, 参加費お支払い後は理由の如何を問わず, 返金等はいたしませんので, 予めご了承願います。

◆持ち物

参加費, 上履き, 洗面具, パジャマ類, 健康保険証(写しも可), 筆記用具

< 保険内容 > 保険種類: 傷害保険

死亡・後遺障害	1, 135万円
入院日額	10, 000円
通院日額	5, 000円

◆申込方法

- 参加申込書に必要事項をご記入の上, 下記の宛先まで郵送かFAX, または E-mail にてお申し込みください。
- ★FAXでお申し込みの場合は, 電話で着信の確認をお願いいたします。
- ★E-mailでお申し込みの場合は, 件名に必ず「**青少年自立支援者事業**」の文字を明記してください。
- ★当日, 無料送迎バスがご利用できます(時刻指定)。ご希望の方は, 参加申込の際にお申し出ください。

< 申し込み先・問い合わせ >

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
〒371-0101 群馬県勢多郡富士見村赤城山27

TEL 027-289-7224 FAX 027-289-7226 E-mail akagi20kikaku@niye.go.jp

URL <http://akagi.niye.go.jp/>

担当: 企画指導専門職 小野 義孝・岡部 孝雄・棚谷 克彦

平成20年度 国立赤城青少年交流の家特別事業
「青少年自立支援者のための研究交流フォーラム」 参加申込書

◆申込日：平成 年 月 日

ふりがな 氏名				性別	男性・女性	年齢	歳
住所	〒 ※〒と名と部屋番号も必ずご記入ください。						
TEL	(自宅)			(携帯)			
FAX				E-mail アドレス			
活動団体名 又は所属名							
◆A～Cのご希望の参加タイプを○で囲んでください。	(A) 2/13(金)～2/15(日)2泊3日 参加費 9,000円 (B) 2/13(金)～2/14(土)1泊2日 参加費 8,050円 (C) 2/14(土)～2/15(日)1泊2日 参加費 8,580円						
◆分科会Ⅰについて、参加希望の分科会番号を○で囲んでください。							
第1希望	①	②	③	④	⑤	第2希望	① ② ③ ④ ⑤
◆分科会Ⅱについて、参加希望の分科会番号を○で囲んでください。							
第1希望	①	②	③	④	⑤	第2希望	① ② ③ ④ ⑤

★当日の交通手段について、送迎バス利用希望の場合は「送迎バス」の文字を○で囲み、右欄の該当バスの()内に○をご記入ください。

※前橋駅～国立赤城青少年交流の家の送迎バス(無料)を運行いたします。

送迎バス	() 行き	2/13日(金) 前橋駅発 17:20 → 国立赤城青少年交流の家着 18:00
	() 行き	2/14日(土) 前橋駅発 8:00 → 国立赤城青少年交流の家着 8:40
	() 帰り	2/14日(土) 国立赤城青少年交流の家発 20:45 → 前橋駅着 21:25
	() 帰り	2/15日(日) 国立赤城青少年交流の家発 13:45 → 前橋駅着 14:25

【個人情報について】

本事業の参加申込手続きにおきまして、申込者から提出された個人情報を事業の事務手続き、及び広報調査に関する統計並びに事業案内の発送に付随する運営業務のために利用します。その取り扱いについては細心の注意を払い、厳重に管理します。予め申込者の同意がある場合、及び法令等に基づき要請された場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

【実践事例集について】

優秀事例には「赤城青少年自立支援大賞」を贈呈いたします！！

本事業に参加される方は、次頁の「実践事例集」シートに、「楽しく有意義であった取組事例」をご記入いただき FAX, メール, 郵便等でお送りください。必要に応じて適宜、行を挿入・削除したり、記載項目等を変更していただいてもかまいません。絵・写真・図・イラスト等を入れていただいても結構です。

お送りいただいたシートは事後に作成いたします「実践事例集」に掲載いたします。

また、事業中に参加者の投票により、優秀事例を選出し表彰いたします。なお、「実践事例集」シートは、本所のホームページより「一太郎版」「WORD版」をダウンロードすることも可能です。ご利用ください。

◆◆◆お申し込み、ありがとうございました。◆◆◆

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
「 青少年自立支援者のための研究交流フォーラム 」
実 践 事 例 集

事例No. _____

_____ 本事例についてのお問い合わせは _____
_____ までお願いいたします _____

団 体 名 (個人名)	
団体(個人) 所 在 地	〒 —
TEL 番号	
FAX 番号	
メールアドレス	
記載者の職・氏名	

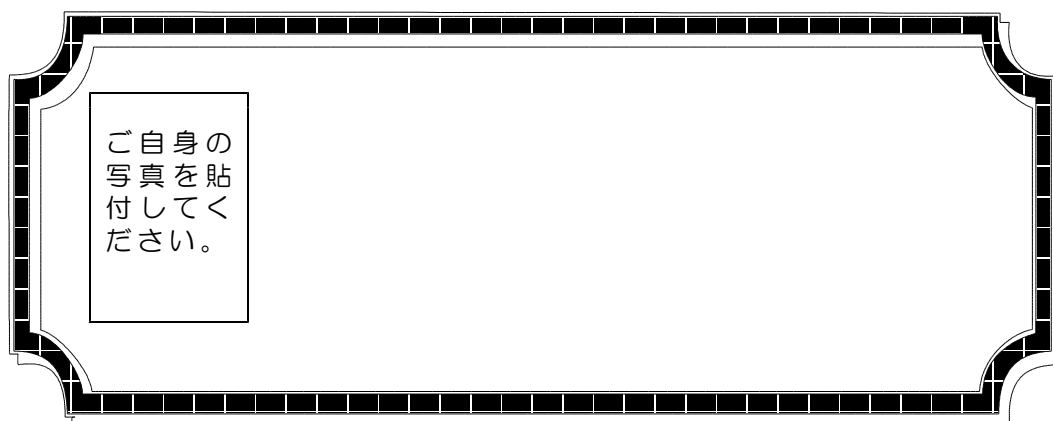
○実践のあらまし

○実践の内容

○まとめ

下の空欄はネットワーク用PRシートです。他の参加者へ公開してもよい情報（氏名、住所、電話番号、メールアドレス、自己紹介の文やキーワード等々）をご自由にお書きください。事業期間中、ご提出くださった方に一覧表をお配りいたします。（名刺の貼付も結構です）。

事業当日、受付にて職員にお渡しください。



----- きりとりせん -----

○以下の2つの「活動申込書」は必要な方のみご記入の上、お申し込みください。

①「ポスターセッション」申込書 【 2月14日(土) 12:30~14:00 】	
希望時間帯	2月14日(土)()時()分 ~ ()時()分まで
団体名	
責任者氏名	
連絡先	
○内容を簡単にお書きください。	
○赤城青少年交流の家への要望等がありましたらお書きください。なお、場所や機材等の貸出で、ご希望に添えない場合があります。	

----- きりとりせん -----

②「活動発表」申込書 【 2月14日(土) 17:30~18:30 】	
※先着4人(組)までとし、1人(組)の発表時間は15分以内厳守でお願いいたします。 場所は講堂前ロビーにあります暖炉横の、特設ステージ上です。(視聴覚機器、照明等あり)	
団体名	
責任者氏名	
連絡先	
○内容を簡単にお書きください。	
○赤城青少年交流の家への要望等がありましたらお書きください。なお、機材等の貸出で、ご希望に添えない場合があります。	